

# 令和2年度 鳥取県職員採用試験（文化財主事（美術工芸担当）） 受験案内

◆鳥取県総務部行財政改革局人事企画課◆  
〒680-8570 鳥取市東町一丁目220 鳥取県庁本庁舎3階  
電話(0857)26-7034 インターネット<https://www.pref.tottori.lg.jp/jinjikikaku/>

## 1 受付期間、試験日、試験会場、合格者発表日

受付期間	<p><b>8月26日（水）～9月25日（金）（必着）</b></p> <p>◎ 郵便もしくは信書便または持参のいずれかで申し込みを行ってください。 ◎ 郵便または信書便による場合は、9月25日（金）17:15までに到着したもの（期限までに申込先に到着したことが明確に確認できるもの）に限り受け付けます。 ◎ 持参による場合の受付時間 8:30～17:15 土曜日、日曜日及び祝祭日は閉庁日のため受け付けておりません。 上記の受付日・時間以外に持参されても、受理できません。</p>
第1次試験	<p><b>10月4日（日）</b></p> <p>◎ 開場時刻 8:40 ◎ 試験開始時刻 9:00 ◎ 試験終了時刻 13:00</p> <p>[試験会場] 鳥取県庁会議室（鳥取市東町一丁目220）</p>
第1次試験合格者発表日	<b>10月9日（金）（予定）</b>
第2次試験	<p><b>10月24日（土）（予定）</b></p> <p>◎ 試験の日時は第1次試験合格者に通知します。</p> <p>[試験会場] 鳥取県庁会議室（鳥取市東町一丁目220）</p>
最終合格者発表日	<b>11月上旬</b>

◆上記内容は、新型コロナウイルスの感染状況等により変更することがあります。試験に関して変更等がある場合は人事企画課ホームページでお知らせします。

○問い合わせ先電話番号 (0857)26-7034

○人事企画課ホームページ <https://www.pref.tottori.lg.jp/jinjikikaku/>

## 2 募集職種、採用予定者数、職務内容、主な配属先

職 種	採用予定者数	職 務 内 容	主 な 配 属 先
文化財主事 (美術工芸担当)	1名程度	文化財の保存や活用に関する調査や事業の企画立案、市町村・文化財所有者への助言、補助金業務等	地域づくり推進部文化財局等

- (注) 1 採用予定者数は、今後の欠員等の状況により変更になる場合があります。  
2 試験の結果によっては、採用予定者数を増減する場合もしくは試験合格者なしとする場合もあります。  
3 配属先については、令和3年度の鳥取県の組織体制と合格者の適性等を考慮して決定します。

## 3 受験資格

- (1) 資格要件  
学校教育法にいう大学（短期大学を除く。）又は大学院において、美術工芸に関する分野を専攻して卒業（修了）した人又は令和3年3月31日までに卒業（修了）する見込みのある人
- (2) 年齢要件  
昭和55年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた人
- (3) 国籍  
日本国籍を有しない人については、次のいずれかに該当する人または令和3年3月31日までに該当する見込みの人に限り受験できます。  
・出入国管理及び難民認定法別表第2の上欄に掲げる永住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等または定住者  
・日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法による特別永住者  
日本国籍を有しない職員は、従事する業務及び職が制限されます。
- (4) 地方公務員法第16条等の規定により地方公務員となることができない人は受験できません。  
・禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでまたはその執行を受けることがなくなるまでの人  
・鳥取県の職員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない人  
・日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、またはこれに加入した人  
・地方公務員法附則（平成11年12月8日法律第151号）による経過措置としての準禁治産者

## 4 試験内容

試験種目	配点	内 容
第1次試験	基礎能力試験	100点 〔SPI3（基礎能力のみ）（1時間10分）〕 職務に共通して求められる基礎的な能力についての筆記試験
	専門試験	120点 〔記述式・・・3問（1時間30分）〕 文化財主事に必要な専門的知識についての筆記試験 ※出題分野：日本美術史及び美術工芸品の保存修理に関する知識、文化財保護制度に関する知識
	適性検査	－ 職務遂行に関する適性についての検査〔15分〕
第2次試験	人物試験	200点 個別面接による人物、専門知識についての口述試験

## 5 第1次試験合格者及び採用候補者の決定方法

### (1) 第1次試験合格者

基礎能力試験及び専門試験の得点を合計した得点の高い順に決定します。

なお、基礎能力試験及び専門試験にはそれぞれ一定の基準があり、この基準に満たない場合は、合計得点にかかわらず不合格とします。

また、適性検査を受験しなかった場合も不合格とします。

### (2) 採用候補者

第1次試験の合計得点にかかわらず、第2次試験で実施する人物試験の得点の高い順に決定します。なお、人物試験には一定の基準があり、この基準に満たない場合は、不合格とします。

## 6 第1次試験合格者及び採用候補者の発表

第1次試験合格者及び採用候補者の受験番号を鳥取県人事企画課のホームページに掲載し、あわせて県庁本庁舎の1階屋内掲示板に掲示するとともに、第1次試験合格者及び採用候補者に通知します。

## 7 試験結果の開示

この採用試験の結果については、鳥取県個人情報保護条例第19条第1項の規定により、口頭で開示を請求することができます。開示の内容は次の表のとおりです。ただし、いずれかの試験において成績が設定された基準に満たなかった場合は、順位はありません。

開示対象の試験	開示請求ができる者	開示の内容	開示期間	開示場所
第1次試験	受験者本人 ※やむを得ない場合は代理人による開示ができます	筆記試験、人物試験の 得点、合計得点及び順位	第1次試験合格者 発表日から1年間	鳥取県総務部行財政改革 局人事企画課 (県庁本庁舎3階)
第2次試験		人物試験の得点及び順位	採用候補者発表日 から1年間	

試験結果の開示の請求は、**受験者本人が運転免許証、学生証等の写真により本人であることが確認できるものを携帯して、直接開示場所へおいでください。**電話、はがき等による請求では開示できませんので注意してください。

受験者本人が、病気等やむを得ない事情により来庁できない場合は、代理人による開示請求も可能です。手続等の詳細については、鳥取県人事企画課までお問い合わせください。

また、希望者には郵送により試験結果を通知しますので、**通知を希望する受験者は、第1次試験日当日に、84円切手を貼った受取先明記の通知用封筒〔長形3号(12.0cm×23.5cm)〕を持参してください。**試験日当日に通知用封筒を持参しなかった場合は、郵送による開示請求はできません。

## 8 採用方法及び給与等

### (1) 採用時期

採用は、原則として令和3年4月1日の予定です。

### (2) 給与

ア 令和2年4月1日現在における初任給(月額)は次のとおりで、一定の職歴等がある人は、その経歴に応じて所定の金額が加算されます。

208,100円(大学卒)      230,300円(大学院修士課程修了)

イ 昇給は、原則として毎年1回、4月1日に行われます。

ウ 給与に加えて、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末手当、勤勉手当、時間外勤務手当などの諸手当がそれぞれの条件に応じて支給されます。採用時まで給与改定等があった場合は、それによります。

## 9 受験申込手続

提出書類	<p>申込書 1部…受験申込書裏面の申込書記載要領をよく読んで必要事項を記入の上提出してください。(履歴書、資格証明書等は申込時には不要です。)</p> <p>返送用封筒 1通…受験票を郵便により返送するため、<b>84円切手を貼り、受験票の受取先を明記した封筒〔長形3号(12.0cm×23.5cm)〕をあわせて提出してください。</b></p>
申込先	<p>鳥取県総務部行財政改革局人事企画課 所在地：鳥取市東町一丁目220 鳥取県庁本庁舎3階 電話(0857)26-7034, 7033 [持参により申し込む場合] 上記へ直接ご持参ください。 [郵便または信書便で申し込む場合] あて先：〒680-8570 鳥取市東町一丁目220 鳥取県総務部行財政改革局人事企画課</p> <p>※封筒の表に赤字で「職員採用試験受験」と記載してください。 ※郵便の場合、簡易書留などによるのが確実です。 (郵便局または信書便事業者で交付される受領証等は、受験票が届くまで大切に保管しておいてください。)</p>
受験票の交付	<p>受験票は、提出いただいた返送用封筒により、後日郵送しますが、<b>9月30日(水)までに到着しないときは、鳥取県総務部行財政改革局人事企画課に直接お問い合わせください。</b></p>

※身体に障がいのある方で、車イス使用など試験時に一定の配慮が必要な場合は、申込時に必ずお知らせください。

## 10 試験に関する注意事項

- (1) 試験当日は、必ず試験開始時刻までに試験会場に入室してください。遅刻者は受験できません。
- (2) 受験の際は、受験票、筆記用具(HBまたはBの鉛筆、消しゴム)及び時計(計時機能だけのものに限ります。試験時間中に携帯電話、スマートフォン、スマートウォッチを時計として使用することは認めません。)を持参してください。
- (3) 試験会場には時計がない場合があります。時計を持参される際は、計算機能等のない計時機能だけのものに限りまので注意してください。なお、受験中は携帯電話の電源を切っていただきますので、携帯電話を時計として使用することは一切認めません。
- (4) 試験会場へは、公共交通機関等を利用してお越しください。

## 11 個人情報の取扱い

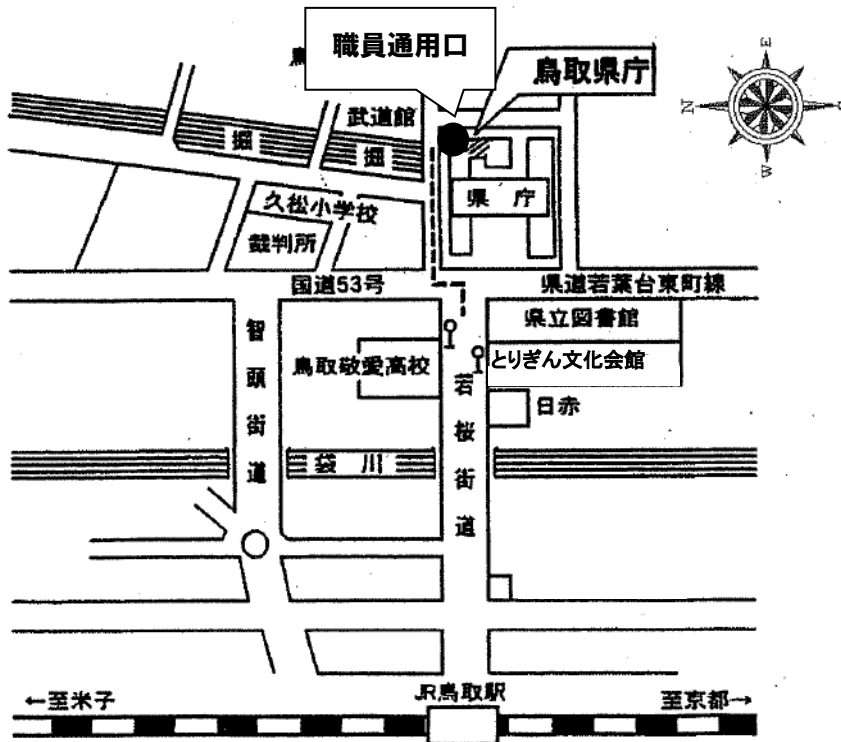
本試験の実施に際して収集した個人情報については、採用試験及び採用に関する事務以外には利用しません。

<参考> 日本国籍を有しない職員の任用について

- 1 日本国籍を有しない職員は次の業務及び職には就くことができません。  
[代表例]
  - ①公権力の行使に該当する業務
    - (1) 許可、認可、免許等処分に関する事務(漁業取締、各種許可、建築確認等)
    - (2) 報告の徴収、検査に関する事務(保健医療機関等に関する報告の徴収、立入検査等)
    - (3) 県税の賦課決定、徴収、滞納処分に関する事務
    - (4) 補助金・交付金の交付、貸付金の貸付けの決定に関する事務
    - (5) 不服申立てに対する裁決に関する事務
    - (6) そのほか、個人、法人、その他の団体の権利義務に直接具体的な効果を及ぼす事務
  - ②公の意思形成への参画に携わる職  
本県行政について、企画、立案及び決定に参画する職とし、本庁課長以上の職、地方機関の長などです。  
ただし、専ら団体指導の業務に従事する職は除くものとします。
- 2 日本国籍を有しない人で、採用時に活動の制限のない在留の資格を有していない人は、採用されません。

【試験会場案内図】

鳥取県庁会議室（鳥取市東町一丁目220）



◎ 試験当日は、県庁正面玄関は閉まっていますので、西側（武道館側）職員通用口からお入りください。